

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立下小岩小学校

全国学力・学習状況調査		
A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和 8 年度の目標	70.0%	70.0%
令和 7 年度の目標	70.0%	70.0%
令和 6 年度の結果	51.0%	52.0%
令和 5 年度の結果	59.0%	46.0%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果		
A・B層の割合		
学年	国語	算数
第 6 学年	46.8%	59.0%
第 5 学年	60.3%	64.3%
第 4 学年	50.6%	48.2%
第 3 学年	53.6%	54.8%

 ともに、生きる。 江戸川区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・国語においては、江戸川区スタンダードを基盤とした授業研究を各学年で行い、校内研究をすすめる。 ・算数においては、令和 6 年度の研究の成果と課題を活かし、授業改善を図る。 ・総合的な学習の時間や読書科をはじめ、教科全般で問題解決な学習を展開する。	・東京ベーシックドリル診断テスト・江戸川区定着度調査を学期ごと（年 3 回）に実施する。 ・診断テスト・定着度調査を基に個人カルテを作成し、週に 2 度の学習タイムにおいて、個々の課題を重点的に学ぶようにする。 ・週に 1 度、よむYomuワークシートに取り組み、読み解く力を高める。	・市販ドリル「アイテム」とタブレット端末によるドリルパークを併用して効果的に家庭学習を行う。 - 江戸川っ子studeyweek!の取組からタブレットを活用した家庭学習を効果的に行う。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	・教材研究に励み、児童が主体的に学習に取り組めるようにする。 ・各教科において、自分の考えをもつことができるように支援の方法を研究する。 ・児童にとって答えやすい質問を考え、誰もが発言、発表できる場を設定する。	・放課後補習教室「EDOスク」のスタッフと連携し、苦手分野の復習を実施する。 ・東京ベーシックドリル診断テスト・江戸川区定着度調査の結果から、学習カルテを作成し、児童にとって個別最適な学びの方法や場を提供していく。 ・夏季休業中にサマースクールを実施して基礎学力の向上を図る。 ・九九に課題がある児童に対し、九九を復習を実施する。	・市販ドリル「アイテム」とタブレット端末によるドリルパークを活用して家庭学習を行う。 ・保護者と連携して、課題のある学習内容を伝え、ドリルパークの活用を推進する。
成果指標	・全国学力学習状況調査や江戸川区学力調査の設問において、教師の助言や賞賛により、意欲が高まったり、理解が深まったりしたといった肯定的な回答が 8 割以上になることを目標とする。	・江戸川区学力調査において、AB層の割合が70%以上になることを目標とする。	・全国学力学習状況調査や江戸川区学力調査の設問において、「授業時間以外の勉強」1 時間以上の回答の割合が80%以上になることを目標とする。